日本計量新報
計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8（武蔵野ビル）
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140－5－12935
購読料年間25,000円（消費税別）

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社　tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

第10回品質工学技術戦略研究発表大会

11月17日(金)、東京都の星陵會舘ホールで

テーマは「技術マネジメントに品質工学を」

品質工学学会は、第10回品質工学技術戦略研究発表大会（RQES2017A）を、11月17日(金)、東京都千代田区の星陵會舘ホールで開催する。今大会では「技術マネジメントに品質工学を」とのテーマで議論を進める。

品質工学技術戦略研究発表大会は、6月に開催する品質工学研究発表大会とともに、同学会が主催する主要な研究発表大会。

品質工学会は創立25周年を迎え、田口玄一名誉会長が提起した「社会の自由の総和の拡大」の実現を目指して、ビジョン30をスタートしている。

大会のテーマは「技術マネジメントに品質工学を」。同学会は、品質工学でいかに技術開発をしていくか、さらに、品質工学で確立したコア技術を、いかに企業内で体系化し総合化するかを確認し、議論していきたいとしている。今回は、品質工学の活用と成長を目指したIHIの挑戦に焦点をあてる。

【テーマ】あらゆる分野に評価でイノベーションを―技術マネジメントに品質工学を―

【日時】11月17日(金)、10時～17時

【場所】星陵會舘ホール（東京都千代田区永田町2―16―2）

【参加費】品質工学会員1万円、非会員2万円（定員400名）

【懇親会】星陵會舘内レストラン「シーボニア」（定員100名、懇親会参加費7000円）

【問い合わせ先】事務局（中山、金野）＝電話03―6268―9355、FAX03―6268―9350

【プログラム】▽開会の言葉＝谷本勲（品質工学会会長）▽基調講演「ビジョン30に向けた品質工学会の活動」吉澤正孝（クオリティ・ディープ・スマーツ）▽研究発表1「箔ひずみゲージを用いたひずみ計測のロバスト性向上」森脇康博、村上伸之、橘鷹伴幸（以上、トヨタ自動車）▽研究発表2「老舗企業の調査方法に関する研究」吉原均、矢野宏（以上、NMS研究会）〈品質工学の活用と成長を目指したIHIの挑戦〉▽研究発表3「失敗実験を成功させる〝状態の点数付け〟―微小径ドリルによる難切材穴あけ加工の最適化の事例より―」高松喜久雄（IHI）▽研究発表4「剛から柔へ！エネルギー評価で新たな可能性―新しい視点によるジェットエンジンの全体構造設計―」本田達人、高松喜久雄、近藤洋介、安藤正晴（以上、IHI）▽品質工学会日本規格協会理事長賞受賞記念講演「IHIにおける品質工学の活用と技術戦略への展開」金津和徳、高松喜久雄、小木曽元一（以上、IHI）▽パネル討論「技術マネジメントに品質工学を」（司会：久米原宏之「地域産学官連携ものづくり研究機構」、パネリスト：各発表者）▽閉会の言葉▽懇親会

指定等の2省令を改正

学校教育法の一部改正を反映

経済産業省は、「指定定期検査機関、指定検定機関、指定計量証明検査機関及び特定計量証明認定機関の指定等に関する省令」と「指定製造事業者の指定等に関する省令」の一部を改正し、10月31日に公布した。施行日は、2019（平成31）年4月1日（改正学校教育法の施行日）。

「学校教育法の一部を改正する法律」により、大学の新たな類型として「専門職大学」が制度化されたことから、計量法関連の2省令についても、これにともなう規定の整備をした。

具体的には、指定の基準の1つである知識経験を有する者の適合条件等について、現行の「短期大学」（の卒業）には「専門職大学の前期課程」（の修了）を含むこととするように改正した。

政省令改正の説明(2)　③～⑤面

今週の主な記事

品質工学技術戦略研究発表大会11月17日開催、指定等の2省令改正、標準化貢献賞に阿知波氏①面
現場の計測管理の現状と課題⑥　②面
政省令改正にともなう自動はかりの検定実施③④⑤面
社説、全国の計量記念日行事③　⑥⑦面
新製品（A&D血圧計）、東京都が年末の量目検査、写真で見る計量記念日全国大会　⑧面

計量記念日特集

―第3集―

日本規格協会標準化貢献賞

阿知波正之氏が受賞

計工連が標準化貢献特別賞に

2017（平成29）年度「日本規格協会標準化貢献賞」を、阿知波正之氏（阿知波計量工事務所、日本計量振興協会副会長、愛知県計量工会会長）が受賞した。日本計量機器工業連合会（計工連）が、「標準化貢献特別賞」を受賞した。

「標準化貢献賞」は11名、「標準化貢献特別賞」は3団体が受賞。10月5日、表彰式が挙行された。

日本規格協会標準化貢献賞は、日本規格協会が設けている賞で、JISおよび国際規格の開発、標準化に関する図書の執筆、講習会、セミナー等、日本規格協会のおこなう標準化関連活動に著しく貢献し、今後の標準化関連活動に寄与・貢献が期待できる個人（標準化貢献賞）および標準化活動の支援等に著しく貢献のあった法人（標準化貢献特別賞）を表彰するために、2003（平成15）年度に設けられた。

阿知波正之氏は、計測機能研究会（MFRG）の立ち上げ・運営など、永年にわたり東海地区における品質工学の普及とそのレベル向上に大きく貢献。品質工学入門セミナーの講師や『品質工学講座7品質工学事例集計測編』の執筆など、同協会の品質工学の普及への貢献、JISマーク認証取得事業者の質の向上への尽力も評価された。

日本計量機器工業連合会は、ISO／TC28（石油製品・潤滑油）、TC30（管路における流量測定）のSC分科会の国内審議団体で、OIML（国際法定計量機関）等の国際規格に対応したJIS原案を年間3規格以上作成している。また、規格協会が国から委託を受けて開発したJISの一端である、JIS原案作成分科会「水素燃料計量システム―自動車充填用」、計量制度見直しにともなう計量法特定計量器技術基準のJIS化などを引き受けていることが評価された。

温度・湿度の校正はSATOへ
株式会社 佐藤計量器製作所
JCSS 宮城工場　校正技術課
■技術問合先　宮城工場　校正技術課　〇三四―八三―二二〇
■本　社〇三―三五四―八二二一■大　阪〇六―六九四四―〇九二一
■仙　台〇二二四―八三―四七八一■名古屋〇五二―二〇四―一二三四
■富　山〇七六―四九四―三〇八八■福　岡〇九二―四五一―六八五
ISO9001 宮城工場

高分解能の追求
最小表示1μg
■無風イオナイザー標準装備
※特許申請中
■導電性ガラス風防採用
■フィルター用計量皿標準付属
（BM-20/22のみ）
■クロススライドドア
■USBとRS-232Cの
2方式インタフェースを採用

6機種をご用意
ひょう量：22g～520g
最小表示：0.001mg～0.1mg
標準価格：¥320,000～¥800,000（税抜）
高精度分析天びん BMシリーズ
http://www.aandd.co.jp　株式会社 エー・アンド・デイ　本社／〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 Tel.03(5391)6126(直)